

中富記念くすり博物館だより



企画展 オリジナルグッズ

翌年1月まで開催の企画展「売薬人(ばいやくにん)大冒険(クエスト)」。

期間中、ミュージアムショップでは企画展オリジナルグッズを販売！

今月号ではそれらを一挙にご紹介します！まず一つ目は「ポストカード」。デザインはキービジュアルのものと昔の鉄道路線図(九州北部)です。2枚セットで販売しています。二つ目は「フレークシール」。売薬人がお土産に配っていた“喰い合わせ”のチラシのイラストがそのままシールになりました！三つ目は「スクエアマグネット」。売薬人が行商へ行った先々がマグネットになっています。これはカプセルトイ限定です。

さらに、会場のクイズに正解すると素敵な景品がもらえる企画も！何がもらえるかはお楽しみ。



?

スクエアマグネット(全10種/300円)※カプセルトイ



フレークシール(10枚入/300円)



ポストカード(2枚入/200円)

イベント情報

薬木薬草園
フォトコンテスト
2025-秋冬-

10/11(土)
~

薬木薬草園で植物を撮影して応募しよう！
作品はプロカメラマンが審査を行い
入賞者には賞品を進呈します。



とす長崎街道まつりin田代八坂神社

10/19(日)

長崎街道各所で行われるお祭りです。
当館は薬研体験コーナーを出展します。
体験料無料 10:00~14:30(出展時間)

2025年度手作りおとそ教室

11月12月

毎年恒例、薬研を使っておとそ作り。
開館当初より開催して記念すべき30回目。
今年のおとそは一味うかも!?
申込先着順ですのでHPをご確認ください。

薬草美術館 絵画の中の植物を紹介

中世ヨーロッパの人々は中央アジアに「バロメッツ」という不思議な植物があると信じていました。
その姿は「茎の先にヒツジが咲き、まわりの草を食べて生きている」というもの！まるで作り話のようなこの植物…
その正体は、「ワタ(綿)」です。

異国からもたらされたワタがどのように育つか、当時の人々は知りませんでした。そのためふわふわとした纖維が羊毛に似ていることから、「植物がヒツジを実らせているのだ」と想像したのです。綿花は木綿として纖維にすることで衣類、寝具、衛生材料などに用いられ、種子から採れる油は食用され、新鮮な根皮は婦人病に効果があり薬用されます。想像から現実へ—。かつて「ヒツジを実させる植物」とよばれたワタは、今は私たちの暮らしの必需品です。

クロード・デュレ『自然界の驚異的で奇跡的な植物とハーブの素晴らしい歴史』より
『バロメッツ』1605年、バイエルン州立図書館(ドイツ)

企画展開催記念講演

10/12(日)

展示の見どころや展示に収まり切れなかった
こぼれ話を学芸員が易しく解説します。

当日先着30名 聴講無料 14:00~14:45
中学生以上対象

アイロンビーズを使ったキーホルダー作り

11/2(日)

くすりのパッケージに描かれたモチーフを
アイロンビーズでつくり、キーホルダーに
仕上げます。

10/1よりHPにて申込開始 参加費700円
①10:30 ②13:00 ③15:00 各回定員20名
小学生以上対象

イベント詳細はこちら↓



公式HP

@Instagram

facebook

LINE@

